

作品名

足で操作する90度回転先入先出ラックスライド

作品概要

下側のボックスで仕掛品を取り扱う際に痛みが発生し、また、取り扱い距離も遠いので、検査待機部品を先入れ先出し方式で処理する時に、足で操作してボックスの投入と排出をスライド移動で改善して製作

動力源

メカニズム

重力

リンク、ドープ、滑車・輪軸

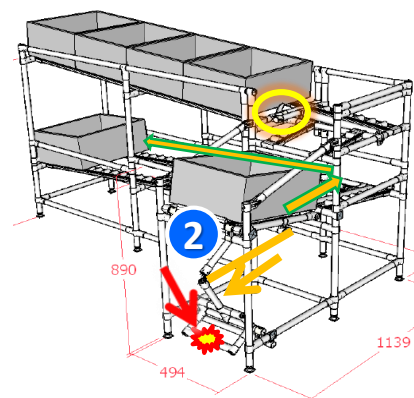
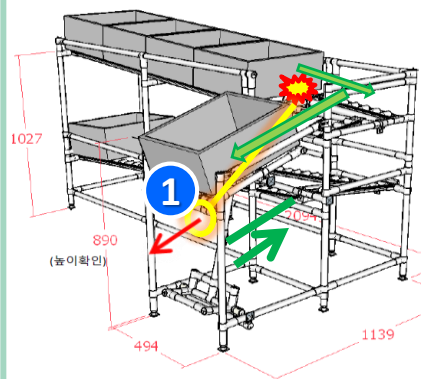
改善前



工程の待機部品は台車にボックスを積み込みして置き、片付けながら高さが低くなると腰を下げて仕掛品を扱うのに困る。

改善後

取出が便利なプラボックス傾き17°



① ワイヤリンクによってボックスはストッパー効果ですべり止めを維持、ロープの取っ手を引っ張ってストッパーを解除するとボックスが投入される。

② てこの原理で、足場を踏んで滑車の力のバランスを崩し、構造物の関節が曲がり、ボックスポケットが下向きに移動して排出する構造。

ボックスを扱う時、腰の高さで仕掛品を扱うため、作業者の負担を減らし、円滑な作業ができる。

効果

- ▶ 作業者の筋骨格系疾患の予防及び繰返し作業の不便解消/冷却状態確認の必要なし。
- ▶ 1,428円=(2[秒削減]×7.3[秒あたりの単価])×18,000個 [月の生産数量]×5ヶ月 [5月～9月]
= 131,400円/年